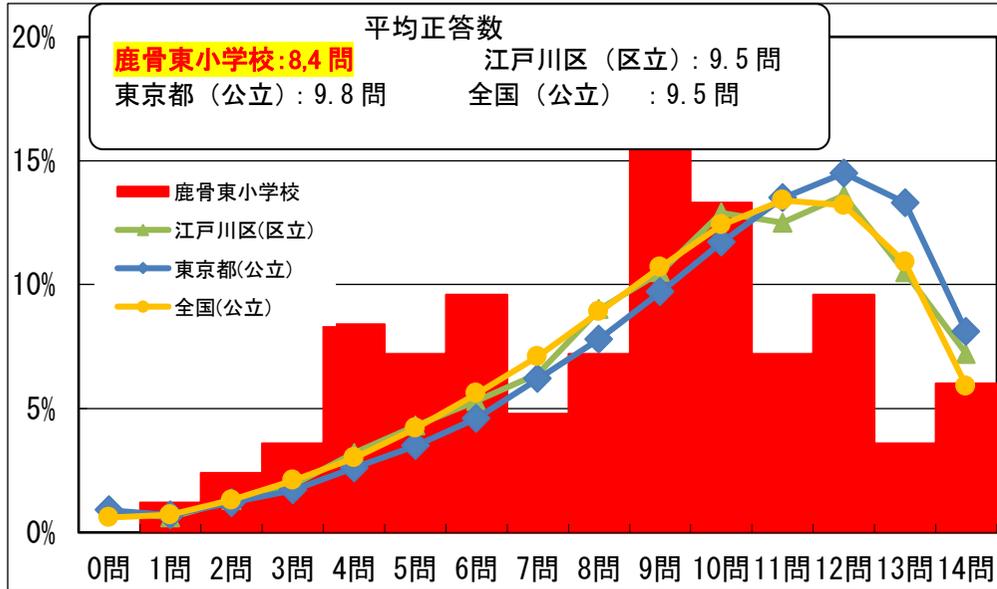


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【国語】 鹿骨東小学校

正答数分布



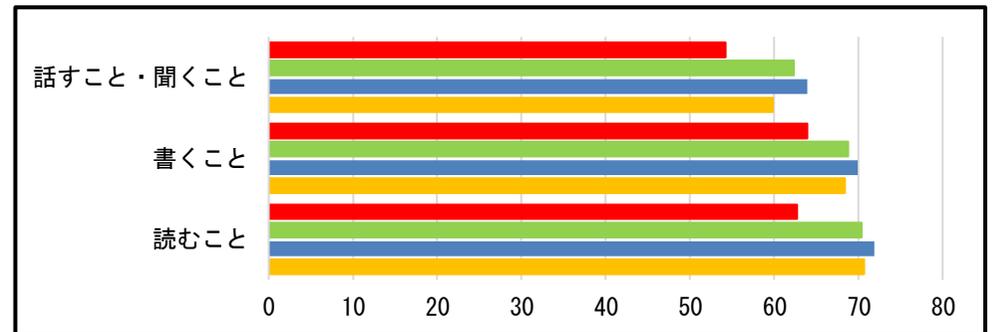
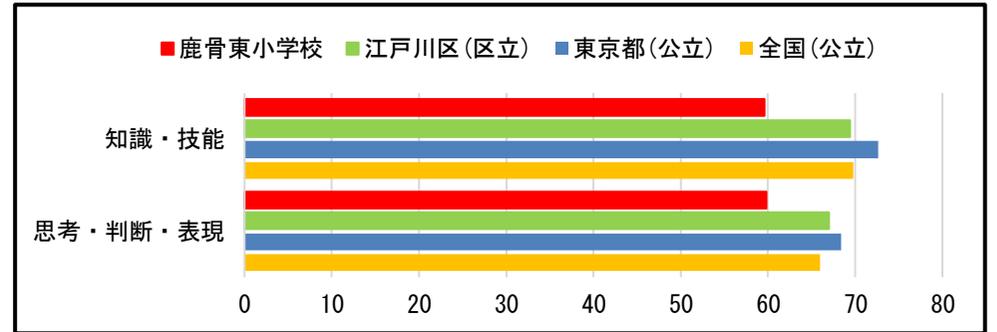
<四分位における割合(都全体の四分位による)>

上位 ← → 下位

国語	A層 12~14問	B層 10~11問	C層 8~9問	D層 0~7問
鹿骨東小学校	26.5	20.4	22.8	37.3
江戸川区(区立)	31.3	25.4	19.5	23.8
東京都(公立)	35.9	25.2	17.5	21.4
全国(公立)	30.0	25.8	19.6	24.6

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。上の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

鹿骨東小学校	60%
江戸川区(区立)	68%
東京都(公立)	70%
全国(公立)	67.7%
都との差	10ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

江戸川区と比べ、C層とD層が多く、B層が少ない。C、D層の割合が60.1%になり、昨年度の52.3%より数値が高くなった。各問題の正答率を全国と比べたところ、記述問題での正答率が約10%低い結果となった。

普段の授業から、ワークシートやタブレットを活用して自分の考えをもつ機会を多く設定する。また、分かったことを文章にまとめる活動を意識して行い、書いて表現することをできるようにする。